

「鳥取市の子どもの読書活動」に関する
インターネットアンケート
調査結果

- 1 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 回答者について・・・・・・・・・・・・ 2～3
- 3 アンケート調査結果・・・・・・・・・・ 4～15

平成28年1月
鳥取市教育委員会生涯学習・スポーツ課

1 調査の概要

(1) 調査の目的

鳥取市では、子どもたちの健やかな成長を願い、子どもと本との豊かな出会いをつくとともに、自ら進んで読書ができる環境を、家庭・地域・学校・行政など社会全体で整えるため、「第3次鳥取市子どもの読書活動推進計画（計画期間：平成28～32年度）」を策定することとしております。この取り組みに市民の皆様のご意見を取り入れることを目的として、アンケート調査を実施することとしました。

(2) 調査方法

① 調査対象

平成27年度鳥取市インターネットモニター 100人

② 調査方法

インターネットを利用して送信

(3) 調査期間

平成27年12月11日（金）から12月24日（木）まで

(4) 回答者数

83人（回答率：83%）

(5) 調査結果の数値について

百分率（%）は回答数を100%として算出し、小数点を四捨五入してある。

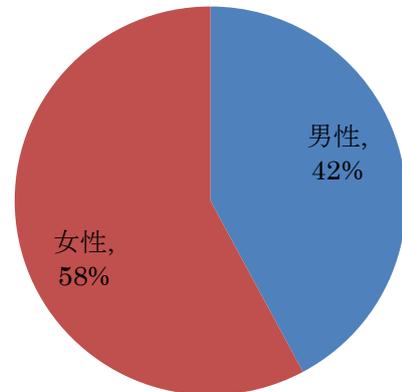
したがって図表およびグラフの合計が100%とならない場合がある。

2 回答者について

○ 性別

(単位:人)

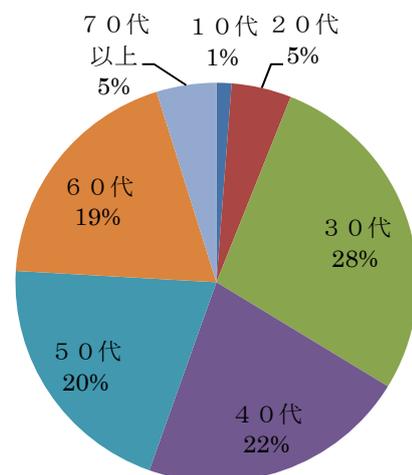
| 区分 | 回答数 | 回答割合 |
|----|-----|--------|
| 男性 | 35 | 42.17% |
| 女性 | 48 | 57.83% |
| 合計 | 83 | 100% |



○ 年齢

(単位:人)

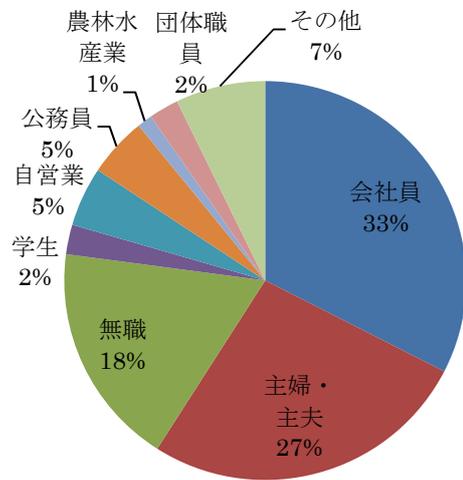
| 区分 | 回答数 | 回答割合 |
|-------|-----|--------|
| 10代 | 1 | 1.20% |
| 20代 | 4 | 4.82% |
| 30代 | 23 | 27.71% |
| 40代 | 18 | 21.69% |
| 50代 | 17 | 20.48% |
| 60代 | 16 | 19.28% |
| 70代以上 | 4 | 4.82% |
| 合計 | 83 | 100% |



○ 職業

(単位:人)

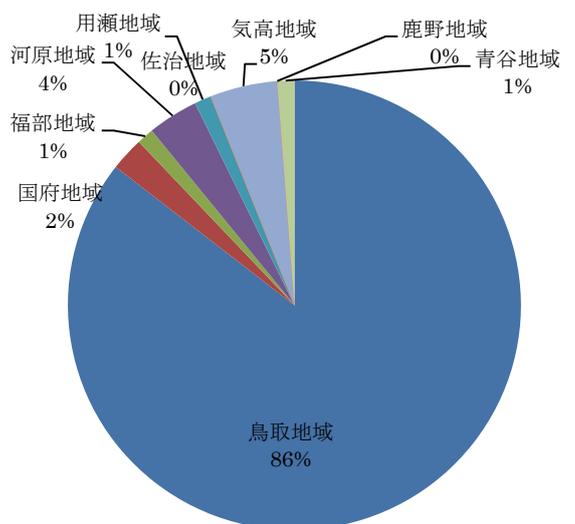
| 区分 | 回答数 | 回答割合 |
|-------|-----|--------|
| 会社員 | 27 | 32.53% |
| 主婦・主夫 | 22 | 26.51% |
| 無職 | 15 | 18.07% |
| 学生 | 2 | 2.41% |
| 自営業 | 4 | 4.82% |
| 公務員 | 4 | 4.82% |
| 農林水産業 | 1 | 1.20% |
| 団体職員 | 2 | 2.41% |
| その他 | 6 | 7.23% |
| 合計 | 83 | 100% |



○ お住まいのエリア

(単位:人)

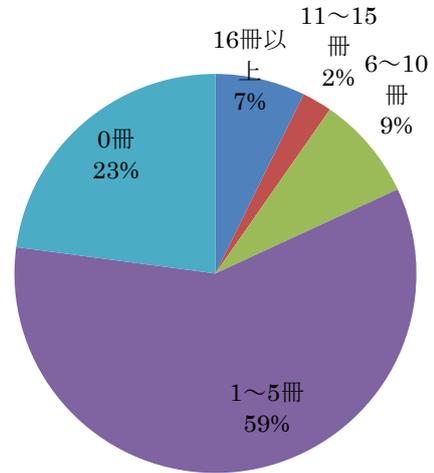
| 区分 | 回答数 | 回答割合 |
|------|-----|--------|
| 鳥取地域 | 71 | 85.54% |
| 国府地域 | 2 | 2.41% |
| 福部地域 | 1 | 1.20% |
| 河原地域 | 3 | 3.61% |
| 用瀬地域 | 1 | 1.20% |
| 佐治地域 | 0 | 0.00% |
| 気高地域 | 4 | 4.82% |
| 鹿野地域 | 0 | 0.00% |
| 青谷地域 | 1 | 1.20% |
| 合計 | 83 | 100% |



3 アンケート調査結果

(1) あなたは、1ヶ月に平均何冊ぐらい本を読みますか。【1つ回答】

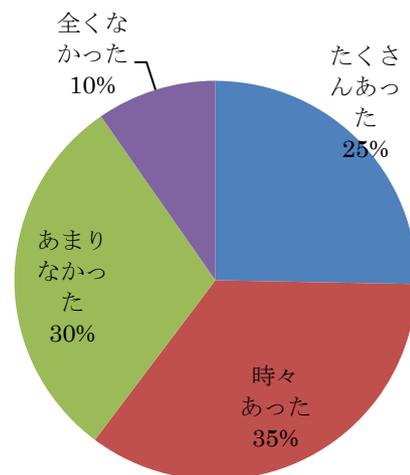
| 区分 | 回答数 | 回答割合 |
|--------|-----|--------|
| 16冊以上 | 6 | 7.23% |
| 11～15冊 | 2 | 2.41% |
| 6～10冊 | 7 | 8.43% |
| 1～5冊 | 49 | 59.04% |
| 0冊 | 19 | 22.89% |
| 合計 | 83 | 100% |



(2) 子どもの頃、誰かに本を読んでもらったことがありましたか。

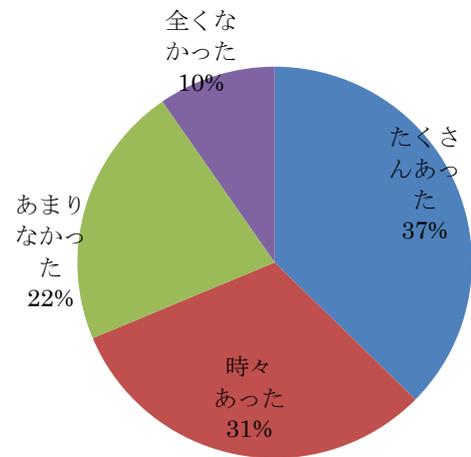
【1つ回答】

| 区分 | 回答数 | 回答割合 |
|---------|-----|--------|
| たくさんあった | 21 | 25.30% |
| 時々あった | 29 | 34.94% |
| あまりなかった | 25 | 30.12% |
| 全くなかった | 8 | 9.64% |
| 合計 | 83 | 100% |



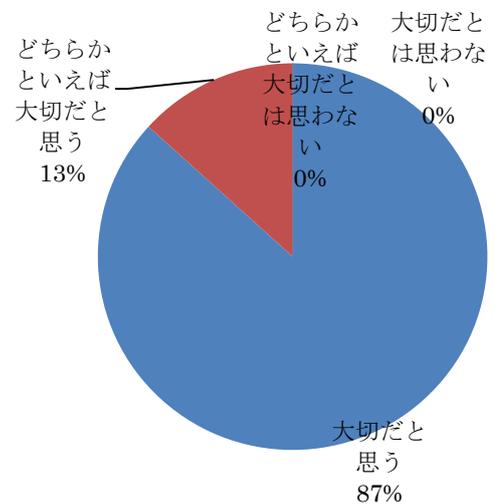
(3) 子どもに本を読んであげたことがありますか。【1つ回答】

| 区分 | 回答数 | 回答割合 |
|---------|-----|------|
| たくさんあった | 31 | 37% |
| 時々あった | 26 | 31% |
| あまりなかった | 18 | 22% |
| 全くなかった | 8 | 10% |
| 合計 | 83 | 100% |

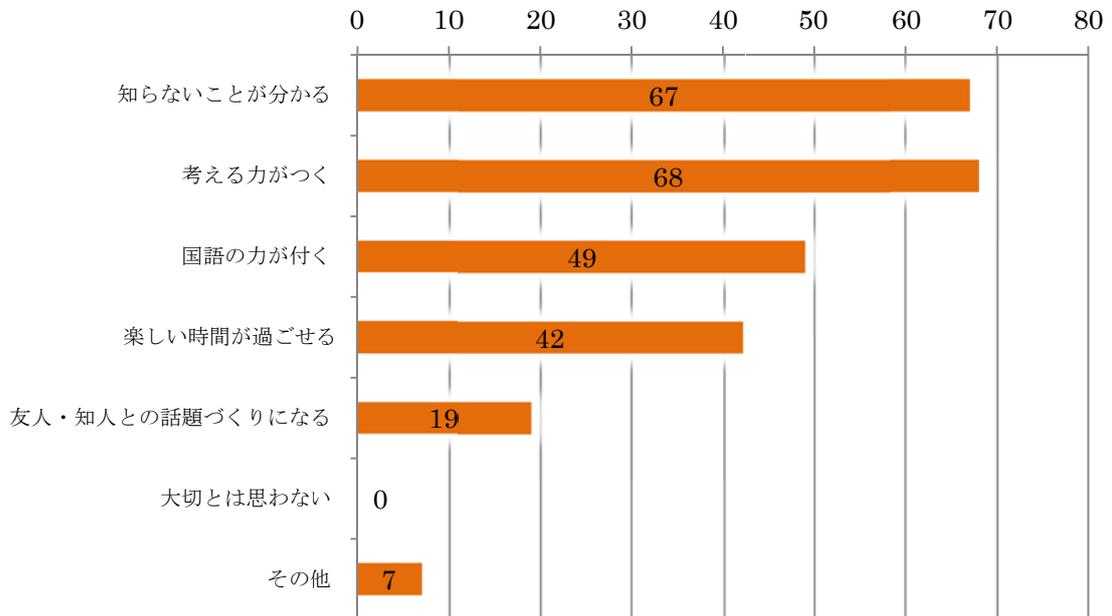


(4) 子どもが読書することは大切だと思いますか。【1つ回答】

| 区分 | 回答数 | 回答割合 |
|-------------------|-----|--------|
| 大切だと思う | 72 | 86.75% |
| どちらかといえば大切だと思う | 11 | 13.25% |
| どちらかといえば大切だとは思わない | 0 | 0.00% |
| 大切だとは思わない | 0 | 0.00% |
| 合計 | 83 | 100% |



(5) 読書することの良さや大切さは何だと思えますか。
【該当するもの全て選択】



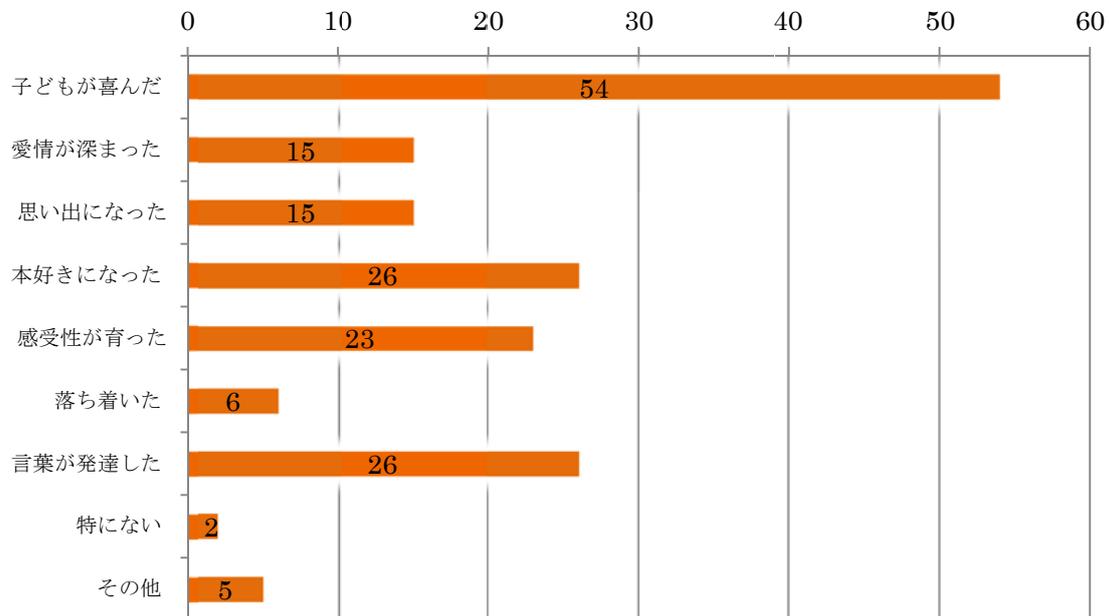
○その他

- ・自分のペースで進める。
- ・想像する力がつく
- ・想像力を養える
- ・知識が増える
- ・本を通して新たな繋がりができる
- ・短時間で他人の経験をまとめた知識が得られて効率的。
- ・想像力が高まる。

(6) 読み聞かせをしてよかったと思ったことは何ですか。

※(3)で「全くなかった」以外を選択者のみ回答

【該当するもの全て選択】



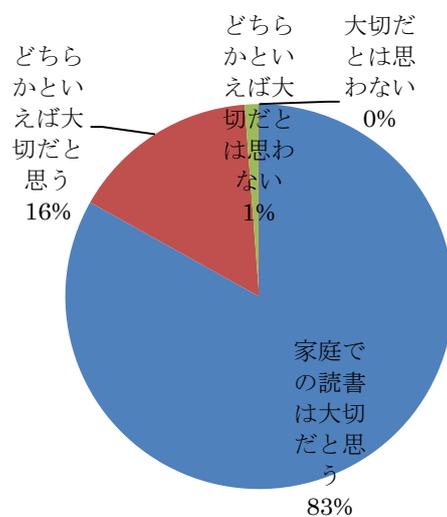
○その他

- ・まだ子どもが小さいので効果がわからない
- ・好きなことを見つけられた。
- ・忙しさにかまけてほとんど読み聞かせていないので覚えていません。
私自身は睡眠を削って読書していたにもかかわらず。
- ・知識が付いた。
- ・子どもを寝かせる前の習慣として毎日読み聞かせをした。3人の子どもとも読書好きになった。驚くことは国語が中学生以降びっくりするくらい伸びた。これはすごい。

(7) 保護者などが行う家庭での子どもの読書活動についてお伺いします。

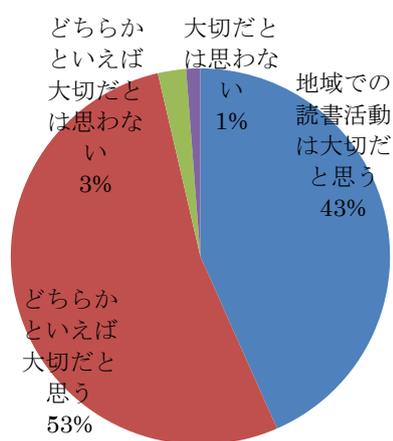
【1つ回答】

| 区分 | 回答数 | 回答割合 |
|-------------------|-----|--------|
| 家庭での読書は大切だと思う | 69 | 83.13% |
| どちらかといえば大切だと思う | 13 | 15.66% |
| どちらかといえば大切だとは思わない | 1 | 1.20% |
| 大切だとは思わない | 0 | 0.00% |
| 合計 | 83 | 100% |



(8) 児童館や公民館、読書ボランティア等の地域での読書活動についてお伺いします。【1つ回答】

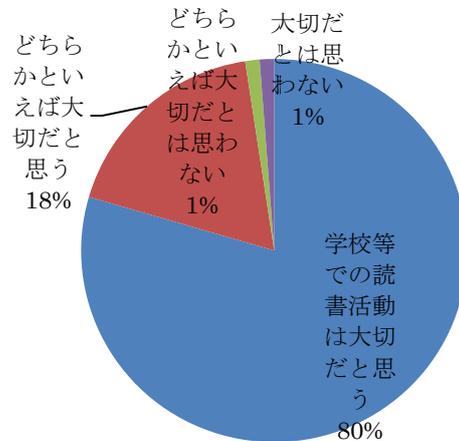
| 区分 | 回答数 | 回答割合 |
|-------------------|-----|--------|
| 地域での読書活動は大切だと思う | 36 | 43.37% |
| どちらかといえば大切だと思う | 44 | 53.01% |
| どちらかといえば大切だとは思わない | 2 | 2.41% |
| 大切だとは思わない | 1 | 1.20% |
| 合計 | 83 | 100% |



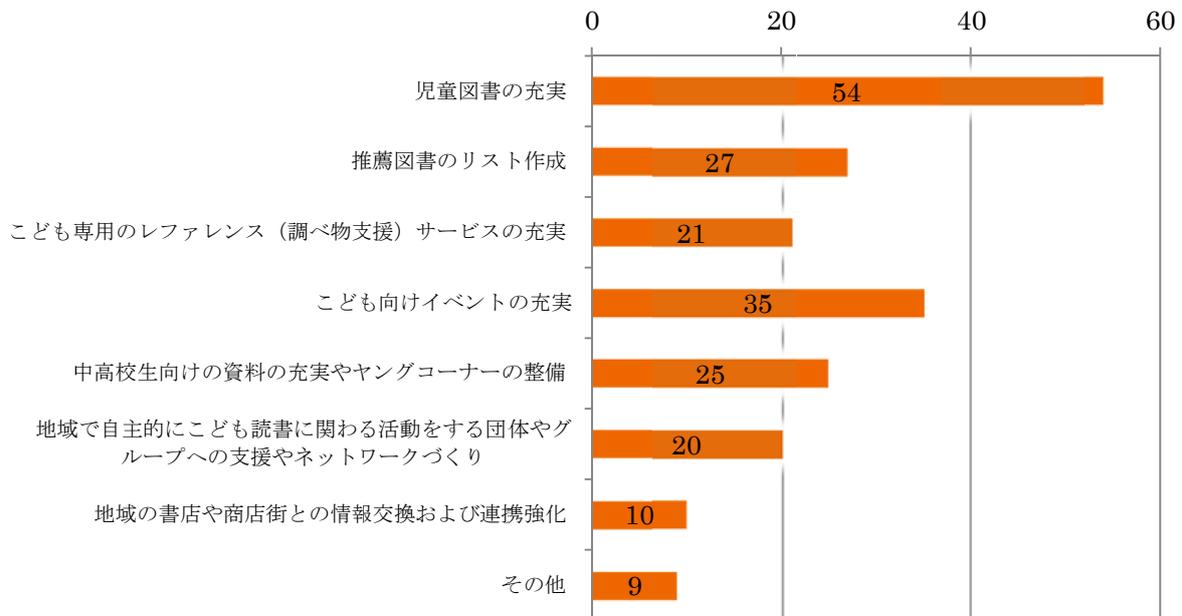
(9) 保育園、幼稚園や学校での読書活動についてお伺いします。

【1つ回答】

| 区分 | 回答数 | 回答割合 |
|-------------------|-----|--------|
| 学校等での読書活動は大切だと思ふ | 66 | 79.52% |
| どちらかといえば大切だと思ふ | 15 | 18.07% |
| どちらかといえば大切だとは思わない | 1 | 1.20% |
| 大切だとは思わない | 1 | 1.20% |
| 合計 | 83 | 100% |



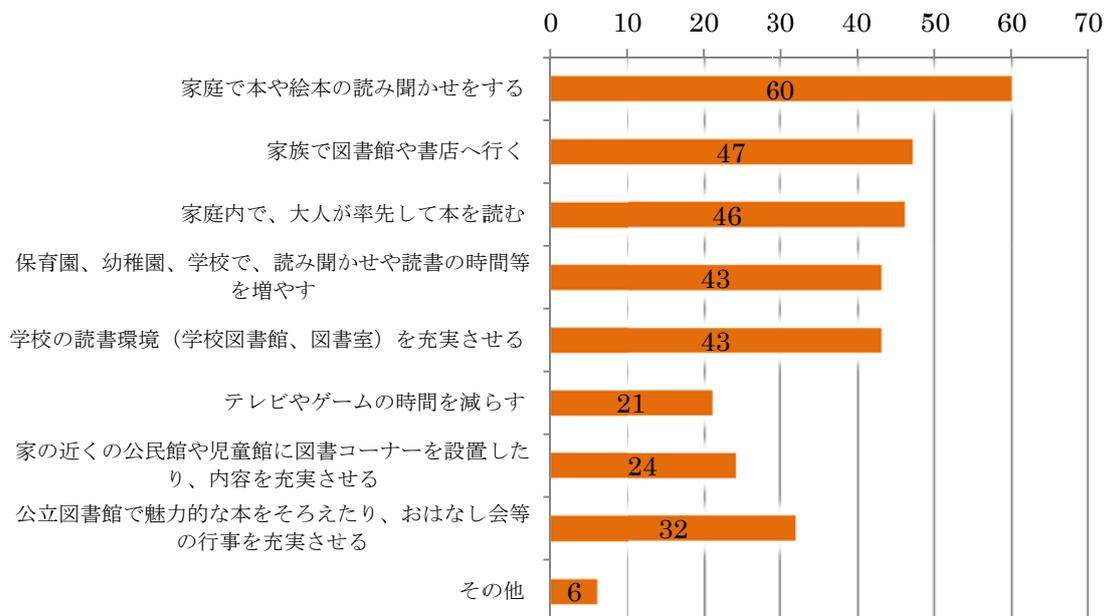
(10) 市立図書館で、こどもの読書活動を推進するために、今後、力を入れた方が良くと思うものは何ですか。【該当するもの全て選択】



○その他

- ・ なにもしなくてよい。読みたい人がいく
- ・ 子供が読書をしたくなるような環境作り。
- ・ 大多数の子供は上記では恩恵を受けられない。理由はほとんどの子供は自身でのアクセスがほぼ困難。一部の子供だけが恩恵を受けるが大多数の子供は恩恵を受けられない。根本的にな仕組みの変更が不可欠。
- ・ 利用したことが無いのでわかりません
- ・ 自主的にこども読書に関わる活動をする団体やグループにやる気を出して積極的に取り組んでもらう為の動機づけ・インセンティブ・資格取得など行政発の仕掛け仕組み作り。
- ・ 地域の施設に出かけての読書の推進活動。読み聞かせ
- ・ 南部地域においては・河原の図書室・用瀬図書館があるが・子ども(大人も)が読書や学習したりするには・施設として十分ではないので再整備を検討してほしい。
- ・ 著者を招いた講演会や物語を題材にしたクイズなど・本に興味を抱けるようなイベント。わらべ館で見た長谷川義史さんのライブイベントはとても良かったです。
- ・ 読書スペースの拡充

(11) 将来、どのようにすれば子どもたちが、より本や絵本に親しめるようになると思いますか。【該当するもの全て選択】

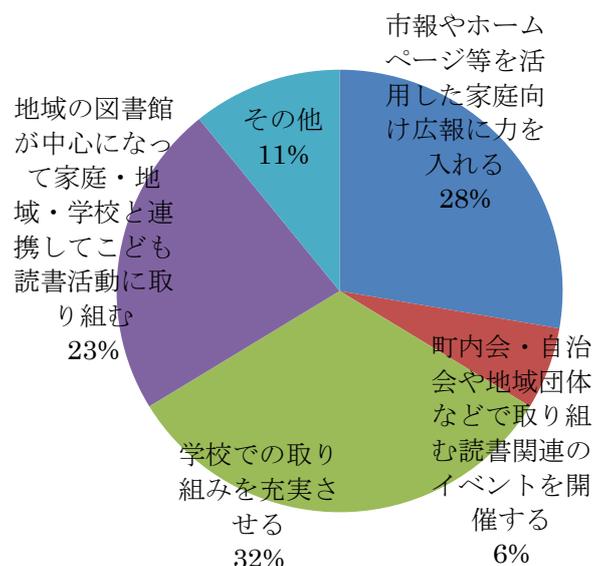


○その他

- ・ 上手く活用した事例の表彰顕彰などでビフォーアフターを徹底的に効用をうたってPRすることですね。
- ・ 読み聞かせだけでは「読んで！」に繋がってしまうのがつらい。自ら率先して読む気にさせるにはどうしたらいいか教えてほしい。
- ・ 本の文字を極力減らす。はじめから多いのは読むのが面倒になる。
- ・ 学校で読書の時間を作ること
- ・ 地域の身近に図書館や本屋がある。
- ・ Q10同様にイベントがあるといいです。子どもはクイズにすると楽しめると思うので図書館内で調べながらできるクイズラリーをするのはどうでしょうか。

(12) 本を読まない子どもたちを減らすためにどのような施策が有効と思われますか。【1つ回答】

| 区分 | 回答数 | 回答割合 |
|--|-----|--------|
| 市報やホームページ等を活用した家庭向け広報に力を入れる | 23 | 27.71% |
| 町内会・自治会や地域団体などで取り組む読書関連のイベントを開催する | 5 | 6.02% |
| 学校での取り組みを充実させる | 27 | 32.53% |
| 地域の図書館が中心になって家庭・地域・学校と連携してこども読書活動に取り組む | 19 | 22.89% |
| その他 | 9 | 10.84% |
| 合計 | 83 | 100% |

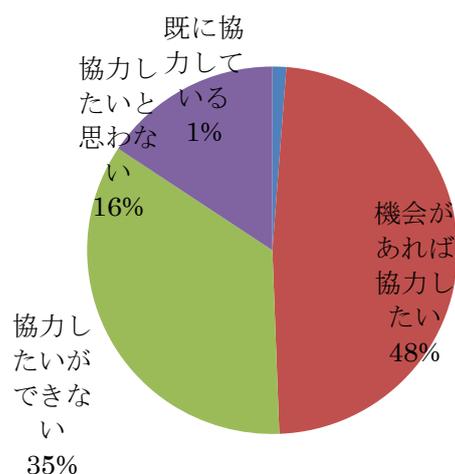


○その他

- ・解りません。私自身は読書が趣味です。子供たちはそれぞれ好きな本は読んでいるようですが、小さい頃から読んでいたら良かったのに、と反省だけです。
- ・強制的に本を読ませても無駄。乳児検診などで地道にお母さんに読み聞かせを勧めては。赤ちゃんのころから本に親しむ環境づくりが必要。お母さんお父さんたちが本好きでないと難しい
- ・子どもたちの生活のリズムの一場面に読書活動を組み込む戦略が不可欠です。その意味では家庭の協力は不可欠ですが、情報提供しても協力を望めないのが現実です。出来ることは子どもたちにとって魅力的な読書環境をつくるのが重要で、戦略が必要です。
- ・子供は興味の対象がバラバラなので、親や先生が興味のある本を探してあげることが一番だと思います。読み聞かせ会にもかなり行きましたが、物語が好きな子ばかりではありません。集団での読み聞かせは難しいです。
- ・上手く活用した事例の表彰顕彰などでピフォーアフターを徹底的に効用をうたってPRすることですね。
- ・親や家族が子どもに本を読んであげ、内容についていっしょに話し考える。
- ・読書の大切さを教えるより読書の楽しさを知る方が本を読まない子供を減らせると思う。
- ・文字数が多すぎる。はじめは少ないものを読みだんだんとにする
- ・本を読みたくなるような環境作り

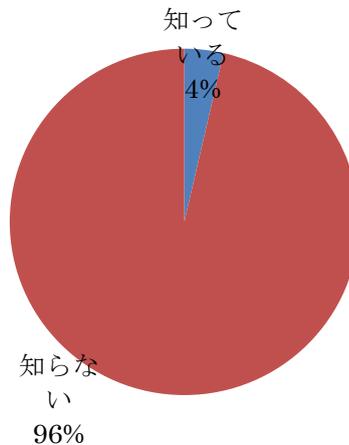
(13) 読み聞かせボランティア等の活動について協力したいと思いますか。

| 区分 | 回答数 | 回答割合 |
|-------------|-----|--------|
| 既に協力している | 1 | 1.20% |
| 機会があれば協力したい | 40 | 48.19% |
| 協力したいができない | 29 | 34.94% |
| 協力したいと思わない | 13 | 15.66% |
| 合計 | 83 | 100% |



(14) 4月23日は「子ども読書の日」ということを知っていますか。

| 区分 | 回答数 | 回答割合 |
|-------|-----|--------|
| 知っている | 3 | 3.61% |
| 知らない | 80 | 96.39% |
| 合計 | 83 | 100% |



(15) 市の子どもの読書活動に関するご意見・ご要望等（自由記述）
（順不同）

- ・ 日頃からこどもが気軽に図書館へ行ける雰囲気づくりが必要。例えば、毎週、こどもを対象とした行事を催すとか、来訪カード（ポイントカード）を交付して溜まったら景品を渡すとか。
- ・ まずは読み聞かせボランティアでの資格制度確立と取得促進、資格活用策と効用PRだと思います。
- ・ 家庭教育、学校教育の中で読書環境作り。
- ・ 学校教育の中で読書活動に充てる時間を設定し、子どもたちに読書習慣を身につけてもらう。
- ・ 学校図書の先生が子どもが本好きなことを知っていて、いろいろ声を掛けてくださっていた。子どもは誰かに気に掛けてもらえればうれしいもの。本に興味のない子どもにもさりげない声かけを続けていけばいいかも。あまりにも「本は素晴らしいですよ」「読み聞かせはいいですよ」とのPRが過ぎると、負担に思う保護者や子どももいると思う。恩着せがましさがみえるとだめ。
- ・ 行政が力を入れるものでもない。
- ・ 最近はスマホでも本が読めるようになって、ずいぶん便利にはなったが、活字離れも多いとか。私は紙の本のほうが読みやすいと思う。
- ・ 子どもが読んだ本の内容や感想を話したくなるような環境や雰囲気を作りたい。
- ・ 子供に何かしろと言うのはNG。まずは親が本に親しむ環境が必要。そうすれば、おのずと子供に読書への興味・習慣が出来る。まず、親が本に親しむべき。
- ・ 市立や県立の図書館で、子供の為になる国語の本を、座って読んだり、寝転がって読

めるようなスペースがあれば、気軽に読書の習慣が身につくと思う。

- ・ 市立図書館は子どもだけでは行きにくい(場所、交通手段)。
- ・ 市立図書館自体が、子どもたちにより身近に感じられるような取り組みが必要です。明確な読書推進ビジョンを立て、計画的・組織的にしくしくと取り組み、その取り組みを的確に数値として評価し、改善していくマネジメントサイクルは当然必要ですが、鳥取市の子どもたちのニーズを的確に把握できているのかと行った点が最も重要だと思います。どこかの図書館のプランをコピーしたような取り組みや、硬直化したプランでは改善は望めないと考えます。
- ・ 私は読書が好きだ。頻繁に図書館に足を運ぶ様子を見て、特に何かを強制するわけではなく、子供も幼少から読書が好きになった。どんなジャンルであれ、読書をすることで、知らない知識が付き、語彙力が伸び、思考力が柔軟になったと思う。市に様々な読書に親しむ環境があれば、読書好きな子供が増えると思う。まずは、与えるのではなく、環境を準備しておくことがよいと思う。
- ・ 時代が違うので自分の価値観を押し付ける訳にはゆかないが、昔は子供自身が積極的に読書をしていたのに、今の子供はゲームやスマホに時間を浪費しているように感じる。
- ・ 小学校からの読書習慣を身につけさせるために、小学校で読書の時間を設定したりしてほしいです。
- ・ 図書館には絵本もたくさん所蔵されており、とても充実していると思います。子ども(2歳)に毎日読み聞かせしていますが、たくさんありすぎて選べず、いつも同じシリーズばかり借りてしまいます。今見かけるお薦めリストは0~2歳向けとかなり大雑把ですが、この時期は月齢によって実際お薦めの本は全然違うので、0歳児は1月ごと、~3歳児はせめて3月ごとくらいに分けて時期にあった本を薦めてもらえると、もっと読み聞かせのハードルが下がるのではないかと思います。
- ・ 赤ちゃん向けのイベントを増やしてほしい。
- ・ 蔵書の充実と貸出しの簡素化―意見や要望を募集する。
- ・ 他市では、周りを暗くしてロウソクの灯りだけでお話されるストーリーテラーの方がいらっしやいました。食いつくように楽しんでました。読み聞かせ会を録画して子供がどのように過ごしているか、集中しているかなど客観的に観察されていました。
- ・ 鳥取市、地域などでのイベント計画を、子どもが本に接する機会を出来るだけ多く検討して各種団体と連携して読書活動の推進を考える必要があると思います。
- ・ 読み聞かせのボランティアの知人がいます。
- ・ 感謝しております。
- ・ 夫が本をよく買うので、子どもが小さいころから家族で書店に行き、買って手もとに置き好きな時に繰り返し読み、図書館でも借りて、読み聞かせや読書をしてきた。しかし、時間もお金も余裕がないとなかなかできないと思う。親が忙しいと本やも図書館にも行けない。

本当に幼い頃から本に接してほしいと思っている。小学校に上がると図書室があるが、それまでの子どもたちにも本と出合う活動をしてほしい。

我が子たちを見て本当に本から力が付いていることを思う。

- ・ 保育園の頃は鳥取市立図書館から保育園への本の貸し出しもあり常に新しい本に接することが出来ました。

小学校では蔵書が少ないため、小学校でも図書館からの貸し出しが充実するとよいと思います。

- ・ 無理強いすると嫌がるのでは。